外為どっとコム
関東財務局長（金商）第262号
6月16日（月）13：00 現在 為替レート www.gaitame.com

| 通貨 | 買値 売値 | 通貨 | 買値 売値 |
|---|---|---|---|
| ドル/円 | 108.27 - 108.31 | ポンド/円 | 211.27 - 211.36 |
| ユーロ/円 | 166.68 - 166.73 | カナダ/円 | 105.14 - 105.22 |
| 豪ドル/円 | 101.64 - 101.69 | ＮＺＤ/円 | 81.23 - 81.31 |

発行所 モーニングスター ©
編集本部 〒104―0045㈹03（3545）7757
東京都中央区築地3―10―10
大阪支社 〒530―0004㈹06（6345）3850
大阪市北区堂島浜1―4―19
中部支社 〒460―0003㈹052（962）1851
名古屋市中区錦3―7―26
九州支社 〒810―0001㈹092（741）7514
福岡市中央区天神4―1―9

日刊／第16422号
2008年（平成20年）6月17日 火曜日
6／17
土曜・日曜・祝日付休刊
昭和24年9月12日第3種郵便物認可

株式新聞
The Kabushiki Shimbun
3版

AIRMAN®
建設機械・産業機械
北越工業
コンプレッサ

東証平均株価 （16日大引）
**14,354.37** △380.64

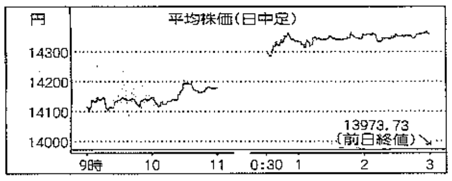
|  | 平均株価 |  | TOPIX |  |
|---|---|---|---|---|
| 寄付 | 14,118.23 | △144.50 | 1,385.29 | △13.72 |
| 高値 | 14,369.09 | △395.36 | 1,402.08 | △30.51 |
| 安値 | 14,103.50 | △129.77 | 1,380.33 | △8.76 |
| 引値 | 14,354.37 | △380.64 | 1,401.69 | △30.12 |

TOPIX **1,401.69** △30.12

東証1部 出来高（概算） 18億8898万株
売買代金 2148197百万円
値上がり＝1,314銘柄 値下がり＝318 銘柄

| 日付 | 30 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平均株価サイコロ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ |
| RSI | 62 | 60 | 51 | 53 | 52 | 54 | 50 | 51 | 53 | 47 | 55 | 57 |
| TOPIXサイコロ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ |
| RSI | 63 | 63 | 56 | 57 | 55 | 54 | 49 | 52 | 52 | 47 | 55 | 56 |

東証2部指数 2,962.13△15.28
ジャスダック平均（15時） 1,520.50 △4.45
ドル・円相場（15時） 108円29銭～32銭



# 平均株価 大幅続伸

## アジア株高も支援

平均株価は大幅続伸。前週末13日の米国株上昇、為替市場の円安進行を好感した。寄り付きはシカゴ先物清算値にサヤ寄せ。輸出株中心に幅広く買いが入った。後場に入り一段高。「先物市場で買い戻しが加速、全体をけん引した」（中堅証券）。ただ、「これといった上げ材料のない先物主導の相場。米金融大手の決算も控えており、戻り売りの警戒が必要」（同）との声が聞かれた。寄り付き前の外資系証券経由の売買注文動向（市場推定）は売り1910万株、買い2000万株、90万株の小幅買い越し。輸出株のほか、不動産、ノンバンク株が騰勢を強めた。半面、石油関連株が軟調。

**マザーズ指数逆行安**

マザーズ指数が逆行安。ジャスダック平均、ヘラクレス総合は上伸したが、新興市場の主力銘柄は上値の重い展開が続いている。テーマ物色も乏しく、「アイフォーン」関連のベルパークや、復興関連の山崎建設などが買われた程度。個別では直近ＩＰＯのＳＭＳやＭＲＯが大幅高。決算悪のアスカネットはストップ安。

**NYダウ** 13日終値
**12,307.35**
（前日比△165.77ドル）

**ナスダック** 13日終値
**2,454.50**
（前日比△50.15ポイント）

**上海総合** 16日東京14時30分
**2,885.161**
（前日比△16.361ポイント）

**香港ハンセン指数** 16日東京14時30分
**23,201.39**
（前日比△609.09ポイント）

## 17日の相場

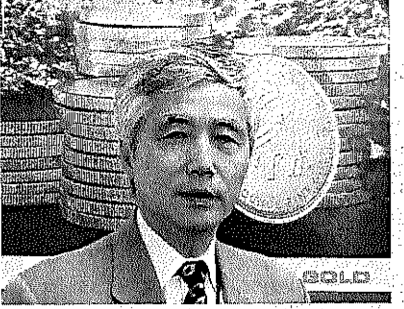
### 米ゴールドマン決算発表

17日の東京株式市場は前日大幅続伸の反動もあり利益確定売りが先行、平均株価は反落となりそうだ。16日は香港市場などアジア各国の株価指数が軒並み高となる中で、平均株価が後場に入って上げ幅を広げ一時、400円高に迫る勢いを見せた。リード役となったのはトヨタ、キヤノン、ソニーといった代表的な輸出関連銘柄と大手銀行株。17日は経済財政諮問会議、米5月卸売物価指数、米5月住宅着工件数、米ゴールドマン・サックス決算発表などが焦点。

# 「トレンド・フォロー」収益拡大

## スーパーファンド証券 土屋泰統社長に聞く

最近、グローバルマネーの世界で注目されているのがＣＴＡ（商品投資顧問業者）だ。さまざまな金融商品にレバレッジ（テコの原理）を利かせて投資し、高いパフォーマンスを上げている。国内でも株価指数先物や債券先物の売り買いを活発化させ、日本株市場へも大きな影響を与えている。だが、実際にはその実態はあまり知られていない。運用手法や投資哲学などその実態に迫ってみた。第１回目は代表的なＣＴＡで、マネージド・フューチャーズという範疇に属し、驚異的ともいえるパフォーマンスを実現している「スーパーファンド」。旗艦ファンドの「Superfund Ｑ―ＡＧ」（新規販売期間終了）の1996年３月からの累積収益率は５月末現在、650％を超え、米格付け機関スタンダード＆プアーズの相対パフォーマンス・ランキングで最高格付け「５ツ星」を獲得するなど「世界で最も成功したマネージド・フューチャーズ・ファンド」として知られている。同ファンドの日本法人・スーパーファンド証券の土屋泰統社長に、高いパフォーマンスを上げるその運用手法や投資対象を聞いた。



### 累積収益率 650％超

### 先物分散投資

――そもそも、マネージド・フューチャーズとは何か。

「当ファンドの場合、株式や債券などの従来型の現物資産ではなく、世界の１００以上の先物（フューチャーズ）市場を常時ウオッチし、分散投資している。他のマネージド・フューチャーズの場合も同様だ。当ファンドではコモディティー（商品）先物と金融先物の組み入れ比率はほぼ1対1。コモディティーでは原油などのエネルギー、金（ゴールド）などの金属、大豆やトウモロコシなどの穀物など、金融先物では各国の株価指数、債券先物、通貨先物、短期金融商品先物などに幅広く投資しているのが特徴だ」

「ポートフォリオ内の各投資対象のポジションは他の投資対象のポジションとの相関性が低くなるように調整し、分散投資効果が上がるように図っている。分散投資が効いていることで、各資産の急激な価格変動の影響を抑えながら、高いリターンを享受できるメリットがある」

### 完全自動化

――中で「スーパーファンド」が突出したとも言える、高いパフォーマンスを上げている理由は何か。投資手法について聞きたい。

「スーパーファンドが独自に開発した完全自動化トレーディング・システムを使っている。同システムではまず投資対象となる各金融商品の中・長期的なトレンドを自動検出。次に売買ポジションの構築と手じまいを見計らいながら、価格の上昇・下降パターンに追随して収益機会をとらえていく。相場が上昇局面にある投資対象に関しては、買いから入り、上昇トレンドが明確に終わるまで保有する。一方、相場が下落局面にある投資対象に関しては売りから入り、下降トレンドが終了するまで保有する。『トレンド・フォロー型』といわれる投資手法だ」

――「トレンド・フォロー型」はもちあい相場ではパフォーマンスを上げにくいという弱点があるし、トレンドが明確に出てからでは投資タイミングが遅くなるという可能性がある。

「確かにその通りだ。『トレンド・フォロー型』では、相場の転換や局面変化が激しくトレンドが出ない場合は収益を上げにくい。また、局面の変化ではトレンドが逆に振れることがあり、その場合の損失を限定的に抑えるのが徹底したリスク管理だ。当ファンドでは、各投資対象のポジションの初期リスク（予想損失額）の上限をファンド総資産の最高1～2％程度に事前に設定。すべてのポジションに逆指し値注文を適用して、相場の局面転換を読み間違えた場合の損失額を一定水準に抑え込むようにしている」

### 誤算を排除

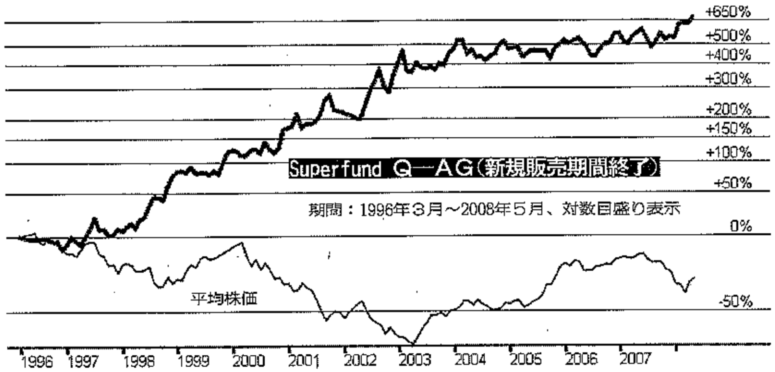
「相場の上昇・下降トレンドが明確に出てからではタイミングとしては遅いという点に関しては、トレンドにうまく乗れれば問題はない。初期の乗り遅れとトレンドの最終・転換局面での損失を一定に抑えることで、トレンドの大部分のパフォーマンスを獲得できる。相場格言にある『頭と尻尾はくれてやれ』ということだ」

「当ファンドの完全自動化トレーディング・システムでは、テクニカル分析をベースにさまざまな投資手法を組み合わせている。人間の感情移入による誤算を完全に排除するのが狙いだ」

――投資家がマネージド・フューチャーズを利用する利点は何か。

「株式、債券など伝統的な投資対象との相関性が低いことが最も大きい利点だ。伝統的な現物資産の補完的な位置付けだが、ポートフォリオの中にマネージド・フューチャーズを加えることで多くの場合、リスクとリターンの関係が大きく改善される。最近では年金資金などでも購入が増えている」

（随時掲載）



（注）Superfund Ｑ―ＡＧは、日本国外で発行され既に新規申し込みを終了。過去の運用成果は、スーパーファンドのほかのファンドの将来の運用成果を示唆または約束するものではなく、日本で募集されているファンドやマスターファンドとは異なる。
出典：Teletrader

## 岩手・宮城地震

# 復興関連株 高い

### 土壌改良 耐震化 喫緊の課題に

復興関連株がにぎわった。14日に岩手県・宮城県境で発生した地震による復興需要が発生するとの思惑が浮上。東証1部の値上がり率上位には、東北ミサワホーム（1907）、植木組（1867）、日成ビルド工業（1916）など、値動きが軽い耐震、建設関連株が顔を並べた。

この中、異色なのが、ライト工業（1926）。今回の地震では土砂崩れが相次いだことで、同社が得意とする法面工事など、今後は土壌改良が喫緊の課題という理想買いが見られた。

株式市場では思惑だけで上昇する一過性の銘柄より、地震を教訓にした耐震関連株に関心が集まっている。

実際、渡海紀三朗文部科学相は今回の地震が起こる直前の13日、全国の市町村に対して倒壊の可能性がある約1万棟の公立小中学校の施設を3年以内に耐震化するとの要望を出した。さらに、1960～70年代の高度成長期に相次いで建設された橋梁の老朽化が進んでいることから、政府・地方自治体では「今回の地震を機に補修・架け替えが進む」（準大手証券）と予想される。

免震装置でトップクラスのオイレス工業（6282）や、KYB（7242）。また、橋梁ではピーエス三菱（1871）、横河ブリッジホールディングス（5911）が息の長い物色の対象になりそうだ。

一方、ミレアホールディングス（8766）をはじめとする損保株はまちまち。家屋や自動車の損壊など被害状況が明らかになるまで、損保株への新規投資には留意が必要だ。

なお、今回の地震で現地の工場への影響が懸念されているが、日立製作所（6501）の電子部品工場（岩手県奥州市）、関東自動車工業（7223）の岩手工場は16日から通常通り稼働するなど、他の企業も現地の生産工場に大きな影響はない見通しだ。

## 晴雨曇

将棋棋士の頂点である名人位を競う、第66期名人戦が佳境に入ってきた。今のところ挑戦者の羽生善治2冠が3勝2敗で名人位に王手を掛けているが、森内俊之名人も調子は悪くなく、決着は依然予断を許さない▼20年以上も前だが、一時、将棋の報道・編集に携わったことがある。そのときに知った棋士たちの天才ぶり。素人が3手先の動きを予測するだけで苦渋するのに、棋士の多くは瞬時に100手以上が、まるで動画のように頭の中で見えるという▼その彼らをして「命と交換でもいいから一度は名人になりたい」という名人位だけに、その帰趨に興味は尽きない▼ところで、プロ棋士の棋力には遠く及ばない、われわれヘボ将棋のレベルでも、将棋を指すことが脳を活性化させ、少子高齢化社会の進展とともに問題になっているボケ防止に役立つ▼特に将棋で重要な先の手を読むことは、株式投資の際の銘柄選択や相場の動向予測にも、勘を働かすという点でプラスに働こう▼将棋のほか、脳トレーニングソフトなどが楽しめるゲーム機の任天堂（7974、主力大証）。（龍玉）

株式新聞オリジナル
株価ジャッジ
証券コードか企業名を入力 検索
http://www.kabushiki.co.jp/judge/index.jspx

株式新聞メールマガジン
無料 1日2回配信
ご登録は、株式新聞webから
http://www.kabushiki.co.jp/

紙面から

電気設備関連 頭角を現す ❷
玩具関連"ショータイム。 ❸
注目株 近畿車 三井物 ミクロン精密 ④
木下晃伸の投資脳の創り方 韓国政府迷走、株価は下落…… ❹
イスラエル株 アイザワ証券、7月初旬から取り扱いへ ⓯
「モルガン・S 先進国株式インデックス・F」 ⓰

証券コード:8518
日本アジア投資株式会社は、おかげさまで
6月16日東証第一部に上場いたしました。

これからも
"ベンチャーを育てるベンチャー"
でありたい。

232社の夢を実現

当社は、1,632社におよぶベンチャー企業への投資の実績と育成ノウハウを活かし、あらゆる成長ステージにある企業の成長と企業価値の向上に取り組んでまいりました。
今後もより豊かでより活力のある社会を実現するために、企業のよきパートナーとしてその成長に貢献してまいります。

【事業内容】投資業務、投資事業組合等の管理業務、
コンサルティング業務、金融業務

独立系ベンチャーキャピタルとしての実績
（平成20年3月31日現在）
累計投資実行金額※1 ―― 2,347億円
累計上場社数※2 ―― 232社
※1 ベンチャーキャピタル投資のみ ※2 既上場企業との株式交換を除く

JAIC 日本アジア投資株式会社
〒100-8972 東京都千代田区永田町二丁目13番5号赤坂エイトワンビル
TEL 03-3501-8518 http://www.jaic-vc.co.jp

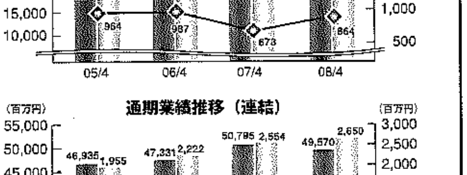
（08年10月期・通期予想）
通年の経常・純利益は増益を継続、過去最高益更新へ。

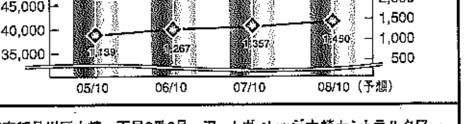
巴工業は「工業用遠心分離機のトップメーカー」そして、「化学工業製品の専門商社」という二面性を持った企業です。そしてこの2つのコア事業が全く異なる事業展開をしていることが当社の特徴であり、強みでもあります。

■2008年10月期、4月中間決算のご報告と通期実績の見通し
当期中間期の連結実績の売上面では、機械製造販売事業では海外分野が全般に順調であり、国内の官需分野などのマイナスをカバーし、増収であったが、化学工業製品販売では、前期のようなメーカーの製造中止に伴う商品の一過性の売上がなかったことより、減収となり、結果、全体では前年同期比0.4%の微減。利益面では、機械事業では比較的利益率の良い部品・修理の売上が堅調であり増益、化学品事業では輸入商材が円高の恩恵を受け、結果、全体では、経常利益は前年同期比24.7%の増、中間期純利益同28.3%と伸張しました。
尚、08年10月期の連結業績予想については、機械事業では海外分野が前期比で大幅に伸張する見込みですが、国内の官需分野での機器・工事の大幅減が響くことや、化学品事業で前述した一過性の売上がないことなどより、売上は前期比2.4%減、利益面では前述した上半期の展開が後半も続くとみており、経常利益は前期比3.7%増、当期純利益は6.8%増となる見通しです。

■株主優待制度を新設いたしました
詳細につきましては弊社ホームページのIR情報をご参照ください。

▨ 売上高（左目盛） ▨ 経常利益（右目盛） ◇ 当期純利益（右目盛）





巴工業株式会社 本社 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー
http://www.tomo-e.co.jp 証券コード：6309